



何でも魚^{うお}ツチング



No.62 『アワビ VS カサミ (ワタリガニ)』



写真1 哀れなアワビ…



4月から水試に配属になりました加賀山です。よろしくお願ひします。隊員になって早速、何でも魚ツチングの執筆を命じられました。自分は加茂の本場より三瀬の栽培センターに居ることが多いので、栽培センターでネタ探しをしていたところ、アワビの放流が始まったことを聞きつけ、今回のネタにさせてもらいました。
本県ではイワガキの殻にアワビを付着させて放流していますよね。これは、放流直後に魚やカニといった外敵に襲われるのを防ぐ意味があります。「そんだな知ってる！」という声が聞こえそうです、「確かめるつもりで、ちょっととした実験をしてみましたのでご報告します。」

うに殻を粉々にして食べる恐ろしいヤツです。そして、写真2のように、このカニと同じカゴにアワビ3個が付いたカキ殻を入れ、しばらく観察してみました。以下に観察日記を記します。

1個は見事に殻をバラバラにされて食べられてました。もう1個はカゴの外に逃亡をはかりました(そこまで逃げるとは計算外でした)。残りの1個はカニの気配を感じたのか、カキ殻に張り付いたままでした。想像ですが、1個目のアワビはカニの目の前でカキ殻から這い出してゴチにされたと思われれます。

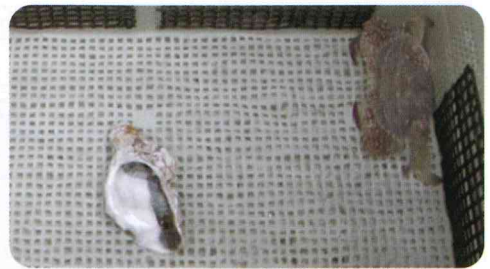


写真2 対戦開始!

最後の1個はカキ殻に張り付いた状態で、カニも手(ハサミか?)を出せないようです。カニは空腹のため結構イラついているようで、夕方にはカキ殻の周囲をウロウロしていました。このアワビにとっては、織田の大軍(巨大カニ)に昼夜を問わず攻められ、魚津城に立てこもった上杉軍状態に違いありません(NHK大河ドラマ「天地人」より)。
2日目同様「磯のアワビの片思い」ならぬ「アワビとイワガキとの両思い」の状態が続きました。



写真3 カニに勝利したアワビ

水産試験場 浅海増殖部 加賀山 祐

広報誌

すいさん山形

No.286/平成21年5月号

編集・発行/山形県漁業協同組合 酒田市船場町二丁目二番一号
代表理事組合長 五十嵐 安哉

☎ 0234-24-5611

http://www.kengyokyo.or.jp/